

今年も 2024 年 10 月 29 日（火）から 31 日（木）の 3 日間で高機能素材 Week 2024 が幕張メッセの 1 ホールから 8 ホールを使用し開催されました。

昨年の来場者は 43,663 人でしたが、本年は 46,813 人と約 7% の増となりました。

開催は、6 件の展示会の同時開催となっており、塗料関連は「塗料・塗装設備展（コーティングジャパン）」が開催されました。本展示会の共催団体である（一社）日本塗料工業会（JPMA）の他、日本塗装機械工業会（CEMA）、コーティングコンソーシアム（CoCo）の出展もあった。JPMA の小間は、昨年より小間数を拡大し、また参加企業も関西ペイント、日本特殊塗料、水谷ペイント、久保孝ペイント、中国塗料、斎藤塗料、ユニオングループ、東洋アルミ、シグナル（ショーアップディビジョン）の 9 社に増えてのパネル等展示で集客のアップを図っていました。



JPMA ブース



JPMA ブース

また、CEMA、CoCo、塗料報知のブースも JPMA のブースとブース内で行き来できる一体感のある展示となっていることもあり、多くの来客対応にスタッフ側も忙しく対応されていました。



CEMA、CoCo、塗料報知ブース



CEMA、CoCo、塗料報知ブース

塗料メーカーとしては、単独出展でイサム塗料、藤倉化成が出展しており、新規参入の塗料メーカーとしては、大阪ガスリキッドが粉体塗料を紹介していました。既存の粉体塗料メーカー以外での粉体塗料の出展・展示は、粉体塗料の今後の市場の拡大に大きな期待を持っていると考えられます。

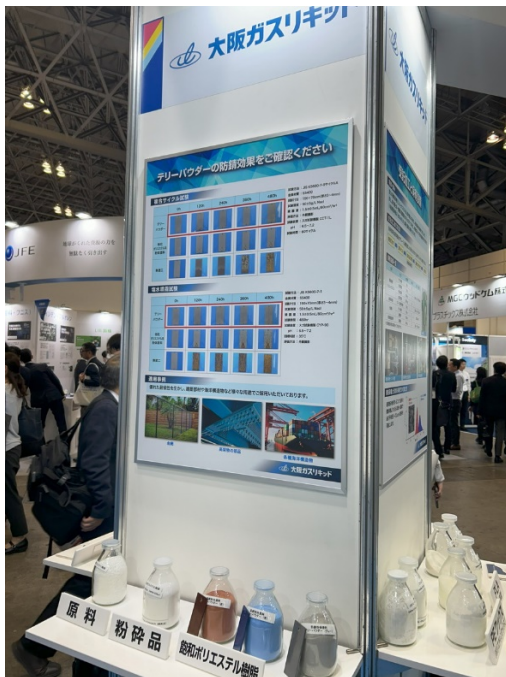
当組合賛助会員のパーカーエンジニアリングも出展されていました。



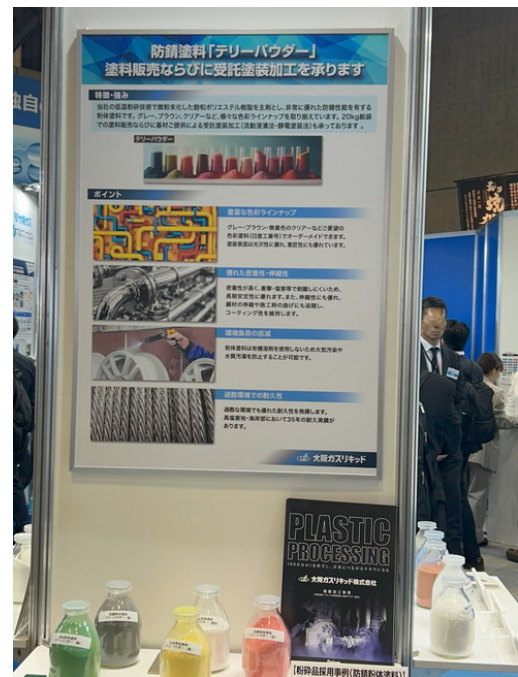
イサム塗料ブース



藤倉化成ブース



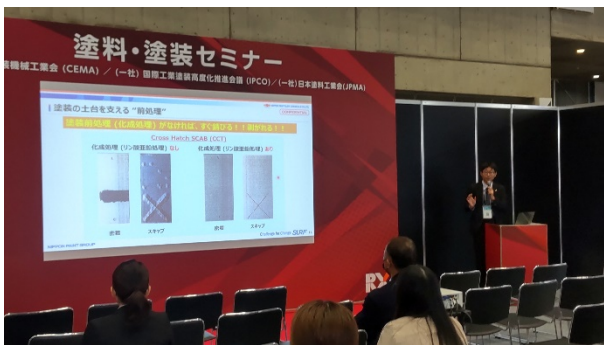
大阪ガスリキッド展示1



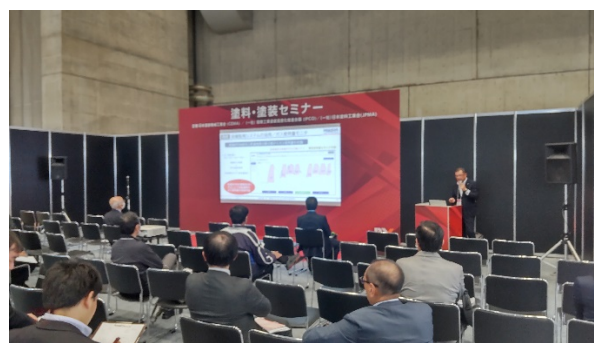
大阪ガスリキッド展示2

本年もコーティングコンソーシアム (CoCo) の3団体が、各団体1日ずつ担当しセミナーを開催しました。当協同組合が参画するIPC0の担当は第1日目で、第2日目は(一社)日本塗料工業会、第3日目は日本塗装機械工業会がそれぞれ担当しました。残念ながら私はスケジュールが合わず参加することができませんでしたが、参加された方より情報を頂戴し以下に内容を記させていただきました。

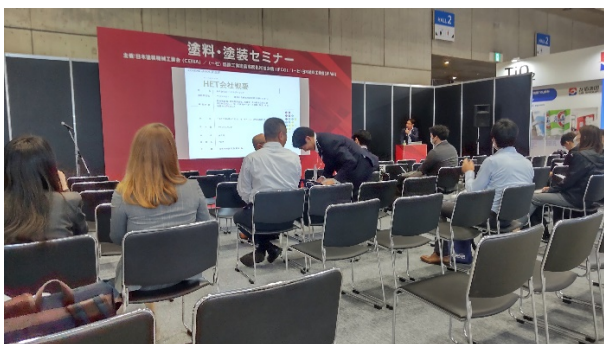
IPC0 担当の初日のセミナー内容は、第一講演は日本ペイント・サーフケミカルズ株式会社 商品開発部 基盤技術ユニット マネージャーの三浦裕佑氏による「環境配慮型塗装前処理のご紹介 ー水性塗布型 1 コート技術ー」で第2講演は株式会社ヒバラコーポレーション 代表取締役社長 小田倉久視氏による「塗装工場のための DX/AI 技術活用による省人化手法と実践」、第3講演は株式会社ヒートエナジーテック 尾崎崇志氏による「カーボンニュートラル実現に向けた水素燃焼バーナー商品化と塗装設備への導入検討」、第4講演は戸崎産業株式会社 代表取締役 戸崎 寿人氏による「工業塗装で取り組む環境対応」、第5講演はユカエンジニアリング 代表取締役社長 堀田氏による「ユニット型装置による、短納期化・導入コスト合理化・省スペース化 ー溶剤回収および排水処理からの提案ー」以上の5公演が行われ、各講演とも環境負荷低減や省人化などのテーマでタイムリー内容であることもあり、以下の写真の通りで講演内容についても好評だったと聞いております。



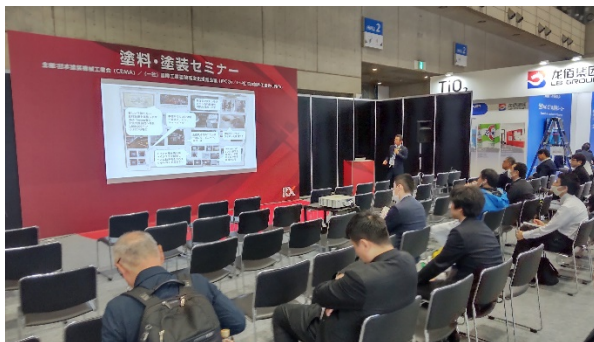
日本ペイント・サーフケミカルズ三浦氏講演



ヒバラコーポレーション小田倉社長講演



ヒートエナジーテック尾崎氏講演



戸崎産業 戸崎社長



ユカエンジニアリング 堀田社長講演



セミナー会場の様子

第2日目の日本塗料工業会、第3日目の日本塗装機械工業会のセミナー内容は以下の通りとなっています。

また、今回目については、加飾フィルムに関する展示が設備会社の気社他で行われていて、関連展示が散見されました。特に自動車メーカーのカーボンニュートラルへの対応のひとつとして検討が進んでいる感じが、自動車メーカー以外でも研究開始か否かの検討を行っている企業もあるようです。

塗装に関するカーボンニュートラルへの対応は、自動車メーカーが先導する形で進んでゆきそうですが、当組合としても環境負荷低減に関する情報の感度を上げ、皆様に情報発信するよう努力する所存です。

コーティングジャパン塗料・塗装セミナー

		第1公演	第2講演	第3講演	第4講演	第5公演
第1日 IPCO	講演者	日本ペイント・サーフェミカ ルズ(株) 技術本部商品開発部 基盤技術ユニットマネー ジャー 三浦 裕祐 氏	(株)ヒバラコーポレーショ ン 代表取締役社長 小田倉 久視 氏	(株)ヒートエナジーテック 東日本営業課 課長 尾崎 崇志 氏	戸崎産業(株) 代表取締役 戸崎 寿人 氏	ユカエンジニアリング(株) 代表取締役社長 堀田 哲平 氏
	講演 タイトル	環境配慮型塗装前処理のご紹 介 —水性塗布型1コート技術—	塗装工場のためのDX・AI技 術活用による省人化手法と実 践	カーボンニュートラル実現に 向けた水素燃焼バーナ商品化 と塗装設備への導入検討	工業塗装で取り組む環境対応	ユニット型装置による、短納 期化・導入コスト合理化・省 スペース化 —溶剤回収およ び排水処理からの提案—
第2日 JPMA	講演者	久保孝ペイント株式会社 永田翔悟 氏・後藤祥司 氏	SHOWupシグナル/MAZIORA 桑木 真之介 氏・清水 慶司 氏	(一社)日本塗料工業会 普及広報部 清水 慶司 氏	水谷ペイント株式会社 水谷 勉 氏	(一社)日本塗料工業会 常務理事 田桐 澤根 氏
	講演 タイトル	サステナビリティへの貢献 持続可能な製品のご紹介	カスタムペイントの無限の可 能性を探る	魅力ある塗料産業 ～日本の塗料工業2024～	①新技術：光触媒酸化チタン 水性メタルコーティング ②新規な水性二液型樹脂シ ステム	塗料・塗装業界のサステイナ ビリティ対応
第2日 CEMA	講演者	旭サナック株式会社 塗装機械事業部 塗装技術部 システム開発課 本山 祐 氏	ファナック株式会社 ロボットアプリケーション技術本 部 塗装・シーリング技術部	タクボエンジニアリング株式 会社 営業技術部 寺内 謙介 氏	CFTランズバーグ株式会社 営業本部 Finishing営業 中部 セクションリーダー 二村 幸和 氏	
	講演 タイトル	脱炭素社会に貢献する 静電自動ガンについて	協働ロボットによる 塗装工程の自動化	「インジウム・ミラー 塗装システム」のご紹介 塗装による鏡面塗膜の実現	塗装工程の稼働効率向上に 貢献するロボット用塗装機の 紹介	

IPCO (一社)国際工業塗装高度化推進会議

JPMA (一社)日本塗料工業会

CEMA 日本塗装機械工業会

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、当組合の活動にご理解を賜り、ご支援有難うございました。

本年も変わらずよろしくお願ひいたします。

さて、新年を迎え関係団体様の新年賀詞交歓会、新年互礼会、新年会等新年の行事が開催され、当組合としてもいくつかの会に参加させていただきましたので、一部をここに紹介いたします。

まず最初に当組合の新年賀詞交歓会をご紹介します、続いて関係各団体の新年行事をご紹介します。

#### 1. 日本パウダーコーティング協同組合 (JAPCA) 新年賀詞交歓会

開催日時:2025年1月24日(金) 16:00~18:00 @第一ホテル東京「ルミエール」の間

- ・副理事長 板橋一博の開会の挨拶が行われた。新年にトランプ大統領が就任したことは不安でいっぱいである。本年の大きなやらないといけない事は賃上げであるが、原料高による価格転嫁は一定レベルまで達成しているものの、賃上げとのバランスの取れた粗利となっているか、などまだまだ検討の余地がある。その中で当組合は製造・販売・塗装機器・塗装業の会社が集まる稀な団体であり、粉体塗装市場を成長させるには相互の情報交換が重要で当組合を活用していただきたいと挨拶がありました。
- ・引き続き来賓を代表して、経済産業省 製造産業局 素材産業課 課長補佐 蝶野雅敏 様より新年の祝辞を頂戴しました。当組合は化学産業業界に属するが製造業全体の2割の付加価値を生み出していて、今後も皆様が活躍頂きたい。最後に大阪・関西万博に関する協力のお願ひとパンフレットの提供がありました。本記事の最後にパンフレットを添付しておきます。
- ・本年の参加者数は、70名で昨年の50名より20名多くの方々にご参加いただきました。
- ・乾杯の音頭は、当組合の副理事長である前島靖浩が行いました。粉体塗装はカーボンニュートラルに貢献できる塗装方法であり今後普及拡大することも踏まえ乾杯に入りました。
- ・歓談の時間ももたれたのち、ご来賓の紹介、新たな参加者の紹介等が行われました。
- ・中締めは、当組合の理事で大阪支部事務局の片山智彦が行いました。粉体塗装の黎明期よりかかわっているが、当時の組合のメンバーにはお世話になった記憶があり、4つの業界団体との情報交換の重要性について力説され、中締めとして一本締めが行われました。以上をもって会は、滞りなく終了致しました。

(以下開催順に掲載いたします)



板橋副理事長挨拶



METI 蝶野課長補佐様祝辞



前島副理事長乾杯



片山理事中締め

## 2. 中部塗料塗装賀詞交歓会

開催日時:2025年1月7日(火) @ANAクラウンプラザグランコートホテル名古屋

- ・JAPCAとしては参加していませんが、コーティングメディア社記者の櫻井氏がレポートしてくれています。
  - ・第41回中部塗料塗装賀詞交歓会が1月7日(火)、ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋で開催された。愛知、三重、岐阜の塗料・塗装の関係者 210名が参集した。
- 最初に実行委員会の橋本淳会長があいさつし、続いて来賓として日本塗料工業会の児島與志夫専務理事などが祝辞を述べた。来賓紹介の後に、日本塗料商業組合の中山保幸理事長の乾杯の発声で祝宴に移った。



橋本会長 開会挨拶



日塗工 児島専務理事 祝辞

## 3. 一般社団法人 日本塗料工業会(日塗工)新年賀詞交歓会

開催日時:2025年1月8日(水) 12:00~13:30 @ホテルニューオータニ「鳳凰」の間

- ・会長 若月一郎氏の開会の挨拶が行われ、新年の挨拶の後世界の情勢や懸念事項などのお話と日塗工のこれからの取組みとして、ISO TC35の国際会議の開催や安全教育のVR作成について等のご紹介がありました。
- ・引き続き経済産業省 製造産業局 大臣官房審議官 浦田秀行様の来賓祝辞がありました。
- ・乾杯は同工業会の副会長 遠田比呂志氏が取られました。
- ・中締めは同じく副会長の春田隆氏のご発声により一本締めで終了致しました。
- ・参加者数は、昨年よりも多いと感じましたが、480名と聞いております。
- ・本年より、旧日本塗料協会会員を中心に行われていた新年賀詞交歓会の開催を見送られたことは残念です。



若月会長挨拶



浦田大臣官房審議官様祝辞

4. 日本パウダーコーティング協同組合大阪支部 & パウダークラブ

開催日時:2025年1月17日(金) 17:50~20:00 @アークホテル大阪心斎橋「孔雀」の間

- ・大阪支部長の新井裕喜理事の開会の挨拶では、大阪支部で大阪・開催万博の経済効果のご紹介がありこの機会に皆さんもしっかり儲けましょとの力強い言葉で始まり同氏による乾杯のご発声で会が始まりました。
- ・司会進行の片山智彦理事のいつもながらの振りがさく裂し、私も組合の事務局として一言挨拶を振られました。ダイテック(株)専務取締役 長谷川 正様、三洋塗装工業(株)専務取締役 片山達彦様、戸崎産業(株)専務取締役 戸崎勇人様の3名が若手経営者として紹介があり、挨拶を振られていました。その他にも初参加の2名の方が壇上に挙げられていました。業界の若返りより粉体塗装市場が増々活性化することを望みます。  
※残念ながら写真撮影するのを失念しておりました。

5. 日本塗装機械工業会(CEMA)新年互礼会

開催日時:2025年1月20日(月) 15:00~17:00 @新横浜グレイスホテル「リディア」の間

- ・工業会専務理事 樋川浩一様の宣言で開会されました。
- ・最初に昨年ご逝去された元専務理事 平野克己氏及び元会長 木下真生氏に対し感謝をもって1分間の黙祷を行いました。
- ・その後、同工業会会長である佐伯直泰氏の日本はものづくり立国であり、そうあり続ける必要があり、製造業としての喫緊の課題である、カーボンニュートラルやSDGsの問題があるがこの様な問題に対し積極的に取り組まれるとのお話がありました。
- ・ひとり目の来賓の挨拶として、日本工業塗装協同組合連合会(工塗連)会長の高橋正氏より、ドジャーズ大谷選手の将来像のしっかりとしたイメージを持ち達成のために計画的に実績を上げていく姿を挙げて、企業も将来像を設定し計画的に事業を進める必要があり、本年は巳年でもあることより脱皮をくり返し成長することが重要と挨拶されました。
- ・ふたり目の来賓の挨拶として、一般社団法人日本塗料工業会(日塗工)専務理事の田桐澤根氏は、昨年より続く、ロスの山火事に係る温暖化問題や地政学的問題のウクライナ・ロシアやイスラエル・ハマスの戦争など暗いニュースと共に、スポーツ界の日本の成果にも勇気づけられた一年でしたが、地政学的問題、特に戦争は経済に大きな影響を与え不安定感を継続させている。この不安定な状況において、日塗工として環境負荷低減のテーマに力を入れて年間の事業計画をしている。また、労働安全衛生についてもVRの導入など力を入れるとのお話でした。
- ・来賓の祝辞の後、CEMA副会長の里見康夫氏の音頭で乾杯が行われ、歓談の時間に入った。
- ・中締めは、同じくCEMA副会長の服部修一氏が行い、来年のCEMAの50周年について、できたことは、会員、関係団体等の皆様のお力添えがあったからと謝辞を述べられ、今後も業界の連携が重要であることを力説され、1本締めで中締め行われた。



CEMA 佐伯会長 挨拶



工塗連 高橋会長 祝辞



日塗工 田桐常務理事 祝辞



CEMA 里見副会長 乾杯



CEMA 服部副会長 中締め

6. 今後予定されている新年賀詞交歓会

東京工業塗装協同組合

開催日時:2025年2月1日(土) 18:00~20:00 @浅草ビューホテル「祥雲I」の間

7. 最後に

当組合の他関係団体の賀詞交歓会に出席させていただきましたが、人手不足の問題や環境負荷低減のための温暖化ガス抑制対策などなど、いずれに致しましても業界の連携が重要になります。関係団体の連携を取り一丸となって色々な問題に対応することで、大きな力になると思います。関係を強化し諸問題に対応してゆきましょう。

以上







## 表紙解説

表紙絵画：小島輝夫

表紙写真

「雪晴れの農業地」

雪晴れとなった日の景色を撮影しようと自宅付近を歩いた。海軍道路に来ると、農業地は30センチあるのではないかと思える積雪量だ。ほとんど土が現れていない。快晴で気温が上がったのか、雪面は穴模様と縞模様ができていた。遠方には冠雪した丹沢山塊が横たわり、絵になる景色だった。

パウダーコーティング

ISSN 1346-6739

2025年1月31日 Vol.25 No.1

発行所：日本パウダーコーティング協同組合(JAPCA)

東京都港区芝5-31-16 YCCビル9F

TEL: 03-3451-8555 FAX: 03-3451-9155

URL: <http://www.powder-coating.or.jp>

制作：パウダーコーティング誌制作部

©2025 日本パウダーコーティング協同組合

本誌に記載されたすべての記事内容について、日本パウダーコーティング協同組合の許可なく転載・複写することを禁じる。

パウダーコーティング ISSN 1346-6739  
二〇二五年一月三十一日 Vol.25 No.1  
定価 二〇〇〇円

発行：日本パウダーコーティング協同組合 (JAPCA)  
東京都港区芝五・三二・一六 YCCビル  
制作：パウダーコーティング誌制作部